

みずほCustomer Desk Report 2024/11/26号(As of 2024/11/25)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	154.25
TKY 9:00AM	154.12	1.0480	161.50	GBP/USD	1.2592
SYD-NY High	154.73	1.0530	162.09	AUD/USD	0.6539
SYD-NY Low	153.55	1.0429	161.00		
NY 5:00 PM	154.18	1.0498	161.82		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	44,736.57	440.06	日本2年債	0.5900%	0.0100%
NASDAQ	19,054.84	51.18	日本10年債	1.0700%	▲0.0100%
S&P	5,987.37	18.03	米国2年債	4.2707%	▲0.1098%
日経平均	38,780.14	496.29	米国5年債	4.1749%	▲0.1297%
TOPIX	2,715.60	19.07	米国10年債	4.2741%	▲0.1369%
シカゴ日経先物	38,825.00	205.00	独10年債	2.2035%	▲0.0485%
ロンドンFT	8,291.68	29.60	英10年債	4.3430%	▲0.0415%
DAX	19,405.20	82.61	豪10年債	4.4860%	▲0.0830%
ハンセン指数	19,150.99	▲ 78.98	USDJPY 1M Vol	11.40%	0.00%
上海総合	3,263.76	▲ 3.43	USDJPY 3M Vol	10.77%	▲0.10%
NY金	2,618.50	▲ 93.70	USDJPY 6M Vol	10.60%	▲0.08%
WTI	68.94	▲ 2.30	USDJPY 1M 25RR	▲1.82%	Yen Call Over
CRB指数	287.51	▲ 2.41	EURJPY 3M Vol	10.77%	▲0.30%
ドルインデックス	106.82	▲ 0.74	EURJPY 6M Vol	10.63%	▲0.24%

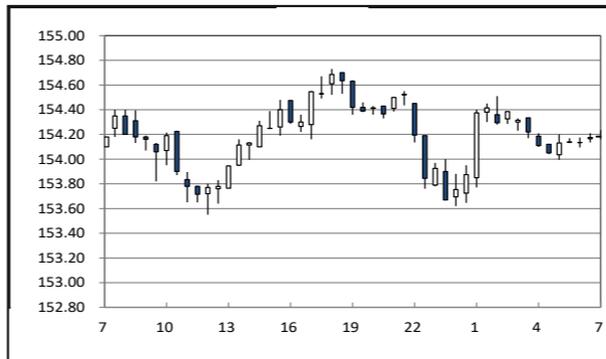
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
11月25日	14:00	日 景気一致指数・確報	9月 115.3	-
	18:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	11月 85.7/84.3/87.2	86.0/85.5/87.0

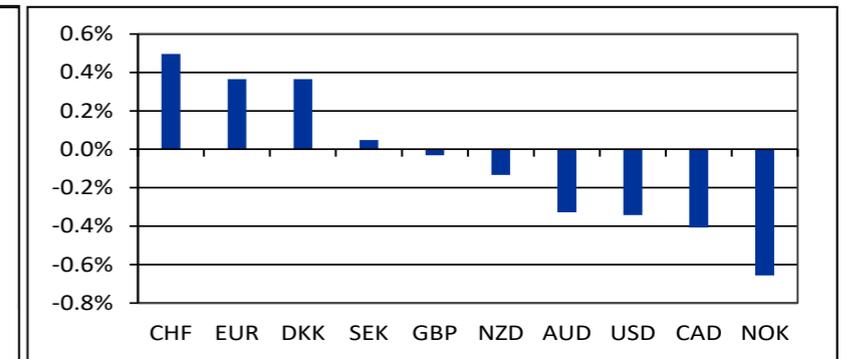
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
11月27日	00:00	米 新築住宅販売件数	10月 725k	738k
	00:00	米 コンファレンス・消費者信頼感	11月 111.4	108.7
	00:00	米 リッチモンド連銀製造業指数	11月 -11	-14
	04:00	米 FOMC議事録	7-Nov -	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.60 - 154.60	1.0470 - 1.0570	161.40 - 162.40

【マーケット・インプレッション】

為替相場は依然トランプトレードとそれに伴う米金利動向に左右されている。米財務長官に投資ファンド経営者のベッセント氏が指名されたことで財政赤字の過度な急拡大が抑制されるとの見通しで米金利が低下し、週明けのアジア時間からドル円は153円台へと弱含んだ。しかし、当の本人が「ドルは基軸通貨としての地位を保つ」とか「大型減税が一番のプライオリティ」と発言したことがドル高容認とも受け取られ、欧州時間にはドル円は154円台に押し戻された。さらにNY時間になると米10年債が急低下したことで再び153円台に売り込まれ、その後ダウの最高値更新に伴うクロス円の買いで154円半ばまで戻されるなど、まさに方向感のない転換であった。市場はトランプトレード列車に乗り続ける参加者と米感謝祭ウィークで早々と列車から降りる参加者に分かれているようである。

東京	東京時間のドル円は154.12レベルでオープン。トランプ次期政権において財政規律重視派と目されるベッセント氏が指名されるとの報道を受け、米国のインフレ抑制期待から米金利と共にドル円は一時153.55まで下落。しかし午後に入ると円は売り戻され、午前中の下げを戻して結局154.40レベルで海外に渡った。
ロンドン	今週木曜日の米国感謝祭を控え全般的に非常に静かなセッションであった。ドル円は今週金曜日の11月の東京コアCPIに備える中、154円台前半を中心に推移し154.19レベルでニューヨークへ渡った。ポンドも動意薄となった。ユーロは本日寄り付き1.0488レベル、安値1.0449を付ける場面が見られたが結局1.0489レベルでNYへ渡った。尚、ドイツ11月のIFO企業景況感指数が発表され、予想の85.7(予想は86.0)をやや下回った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は154円台半ばでスタート。トランプ次期政権の次期財務長官にベッセント氏が指名された事を受け、当政権で過激な金融政策の採用懸念が後退し、米金利の低下に伴い、153.55まで下落。しかし、その後は低下していた米金利が反転上昇する展開や、欧州株高の展開を背景に反発し、154.19レベルでNYオープン。朝方は米金利における一段の低下が重しとなり、153.62まで再度下落。しかし、その後はロンドンフィクシングにかけて154.51まで反発する神経質な値動きとなる。午後は堅調な米2年債の入札結果が上値を抑え、154円ちょうど付近まで反落。その後は下げ渋り、154.18レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.04台前半でスタート。独11月IFO企業景況感指数が予想を下回るも、ユーロドルは反応薄。その後も独金利の上昇を横目にじり高で推移し、1.0489レベルでNYオープン。午前中は米金利が一段と低下する動きを支えとし、1.0530まで上値を伸ばす。しかし、その後は先述のドル買い地合いが上値を抑え、1.0467まで反落する。午後は米金利が再度低下する展開を横目にじりじりと値を戻し、1.0498レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。